

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木育広場拡大プロジェクト
事業主体 (連絡先)	根羽村
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ハード
総事業費	2,921,400 円

事業内容

これまで、下流域中心に様々な地域のイベントに参加して根羽すぎ・ひのきのPRを行ってきたが、更なるPRのため、「動く木のおもちゃ」や「木をつかった遊具」を作成した。

- ・動く木のおもちゃ：25種類
- ・木を使った遊具：2種類(すべり台、ブランコ)

○設置実績

- ・新役場庁舎：9月～(おもちゃ・遊具 3基)
- ・グリーンハウス森沢：9月～(18基)

○イベントでの活用実績

- ・東京スカイツリー：12月28日～1月3日(7日間)
- ・飯田イオン：3月16日～3月17日(2日間)



【東京スカイツリーでのイベント】

【目標・ねらい】

- ①地域材を使った木のおもちゃ、遊具の製作
- ②木育アイテムの公共施設・イベント等への展示による地域材の魅力発信

事業効果

①全てのおもちゃや遊具について地域材の根羽すぎやひのきを活用することができ、地域材の利用促進に寄与する取組となった。

②公共施設への展示やイベントを通して、根羽村の魅力を発信するアイテムとして木のおもちゃを使い、子どもから大人まで楽しむ事ができる空間づくりを目指した。新庁舎やグリーンハウス森沢への展示により、視察などで訪れた方に、木の温かみのある空間を強く印象づけることができた。

また、村内外のイベントでの活用により、子供はもちろん、大人たちも木のおもちゃに触れることで、天然素材の優しい音が響き渡り、根羽村の知名度向上とともに、地域材のPRにつながった。

※自己評価【B】

【理由】

製作した木のおもちゃ等を役場庁舎や公共施設に設置したことで、たくさんの来場者に手に取ってもらえ、地域材の魅力を印象付けることができた。

今後の取り組み

今年度は、村内の公共施設での設置・イベント活用が主であり、県外の商業施設等に設置できた実績が少なかった。次年度以降は、県外も多く場で「木のおもちゃ」を常設設置できるよう、関係機関への交渉を続けていき、木のおもちゃを通じた根羽村及び地域材のPRを、地元住民と取り組んでいきたい。